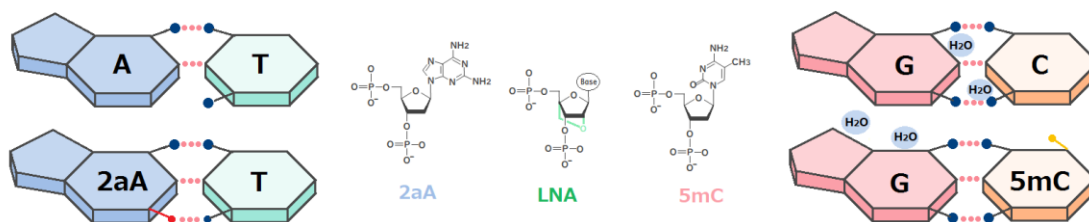


Hypercoolテクノロジー™ ~~X~~ LNA



Hypercool テクノロジー™ は、T_m 値上昇試薬『5-methyl dC』『2-amino dA』を配列内に挿入することで T_m 値を調節し、短い DNA・RNA の検出を可能にする技術です。

▶Hypercool テクノロジー™の特長

- ・ T_m 値上昇塩基を用いて、従来よりもプライマー・プローブや増幅サイズを短くできます。
- ・ 各種オリゴ DNA に導入することができます。特にダブルラベルプローブでは、汎用性の高い蛍光およびクエンチャーをご選択でき、ほぼすべての機器に適応可能です。
- ・ 感度がいまひとつ、ターゲットが AT リッチ、ターゲットの領域が狭い、プローブのジェノタイピングの分解能が低い…などでお困りの場合、性能向上や改善が期待されます。
- ・ SNP Genotyping や Rare mutation 解析のパフォーマンス向上、FFPE サンプルの遺伝子発現定量アッセイの向上、血中循環遊離 DNA 中の腫瘍由来 融合遺伝子の検出、血中循環 腫瘍由来メチル化 DNA 定量アッセイの可能性拡大などに大変有効です。

▶Hypercool テクノロジー™と LNA の同時導入できます

- ・ プライマー・プローブの 1 配列内に、Hypercool テクノロジー™の T_m 値上昇試薬 5-methyl dC、2-amino dA と Locked Nucleic Acid (LNA) 塩基を同時に挿入することも可能です。
- ・ 塩基の T_m 値上昇度合いがそれぞれ異なるため、プライマー・プローブの T_m 値の調節がより行い易くなります。

日本遺伝子研究所は、感度および信頼性を向上させる Hypercool テクノロジー™によって、皆さまの研究をサポートいたします。

〈Primer & Probe カスタム合成〉

⇒[詳細はこちら](#)

お問い合わせ

株式会社日本遺伝子研究所 合成事業部

oligo@ngri.co.jp

TEL : 022-388-9748 (直通) FAX : 022-388-9740 まで

〈Primer&Probe デザイン受託サービス〉

⇒[詳細はこちら](#)

お問い合わせ

application@ngri.co.jp

株式会社日本遺伝子研究所 アプリラボ

TEL : 022-388-9746 (直通) FAX : 022-388-9740 まで